



おとがわ



ふお～ゆ～

校長室だより

第 192 号

R7.1.30

文責 中西 勉



＜卒業記念企画＞ 6年生との給食会食 ～心温まる幸せなひと時～

現在、本校では、インフルエンザ等の感染症がほとんど広まっていません。昨年の同時期は、学級閉鎖が相次いだだけに、この状況をうれしく思います。そこで、一昨日から本日にかけて、卒業記念として栄養教諭の松井先生が企画してくださった6年生との給食会食を、無事に行うことができました。

会食では、3クラスそれぞれに、出迎え方や交流の仕方に工夫が凝らされており、学級のカラーを感じました。最初に、松井先生が用意してくださった給食に関する4択クイズ（全3問）を全員で楽しみました。その後は、6年生が積極的に挙手をし、「どうして先生になろうと思ったのですか?」「一番の宝物は何ですか?」「初恋はいつですか?」などと自由に私へ質問しました。それを通して、普段の学校生活以上に親密な交流を深め、心温まる幸せなひと時を過ごしました。令和2年度から5年間、男川小で共に過ごしてきたこの子たちとの貴重な思い出が、また一つ、私の心にしっかりと刻まれました。



▲6-1



▲6-2



▲6-3



「見ると幸せになれる」 ～東海道新幹線ドクターイエローのラストラン～

東海道新幹線は、私と同じ1964（昭和39）年生まれです。それだけに、幼少の頃から「夢の超特急」には親しみを感じています。その東海道新幹線も昨年、還暦を迎えました。60年の長い歳月を経た今もなお、脱線や衝突等による乗客の死亡事故はゼロであり、その運行管理や保守点検に並々ならぬ努力と苦労が積み重ねられていることに敬服いたします。その東海道新幹線の安全を守り続ける上で大きな役割を果たしてきたのがドクターイエローですが、老朽化に伴い、昨日、ラストランを終えました。



「見ると幸せになれる」と言われるドクターイエロー。皆さんは、直接ご覧になったことはありますか？残念ながら、私はその雄姿を自分の目で見たことはありません。しかし、先日、息子がドローンで撮影したドクターイエローの映像を家で見せてくれ、それを家族で見ながら和やかに談笑しました。ドクターイエローは、わが家にも小さな幸せを運んできてくれたようです。「ありがとう、ドクターイエロー！本当にお疲れさまでした！」

▲ラストランで富士山に別れを告げるドクターイエロー（「Yahoo!ニュース」より）